

暴風雪と大雪に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成25年12月27日5時25分、「暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報第2号（仙台管区气象台）」が発表されました。

暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報 第2号

平成25年12月27日05時25分 仙台管区气象台発表

（見出し）

東北地方の北部では、27日夕方から28日明け方にかけて、海上を中心に西よりの風が雪を伴って非常に強く、日本海側北部では大しけとなる見込みです。また、日本海側を中心に断続的に雪が強まり、大雪となるでしょう。暴風雪や高波に警戒し、大雪による交通障害等に注意してください。

（本文）

【気象状況】

27日は北海道付近と日本の東で低気圧が急速に発達し、日本付近は28日にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みです。

【風・波】

<地域・時期・量的予想>

東北地方の北部では、27日夕方から28日明け方にかけて海上を中心に西よりの風が雪を伴って非常に強くなり、日本海側北部では大しけとなる見込みです。

28日にかけて予想される最大風速（最大瞬間風速）は

日本海側北部 海上25メートル（35メートル）

陸上18メートル（30メートル）

太平洋側北部 海上25メートル（35メートル）

陸上18メートル（30メートル）

波の高さは 日本海側北部 7メートル です。

<防災事項>

暴風雪や高波に警戒してください。

【雪】

<地域・時期・量的予想>

東北地方では、27日夕方から29日にかけて日本海側を中心に断続的に雪が強まり、大雪となる見込みです。

28日06時までで予想される24時間降雪量はいずれも多い所で

日本海側 山沿い 40センチ 平地 30センチ

太平洋側 山沿い 30センチ 平地 10センチ です。

その後も29日にかけて降雪量はさらに増えるでしょう。

<防災事項>

大雪による交通障害、電線や樹木への着雪、積雪の多い傾斜地ではなだれに注意してください。

【補足事項】

今後、地元気象台が発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。
この情報は「暴風雪と高波に関する東北地方気象情報」を引き継ぐものです。
次の「暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報」は、27日16時頃に発表する予定です。

- ・施設の点検や雪下ろし等の管理を徹底し、被害の未然防止に努めましょう。
- ・今後の気象情報に留意し、施設等の管理に十分注意しましょう。
- ・除雪などの作業は、十分に安全を確認して行いましょう。

1 園芸施設

(1) 施設の補強

被覆資材の隙間やゆるみがないように点検し、杭やハウスバンドによる押さえを強化します。

また、パイプハウスは、降雪前に中柱や筋かいで補強します。

(2) 雪下ろし

屋根や側面に積雪がある場合は、安全を確認して速やかに除雪を行います。

除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪するようにします。なお、ハウスの片側だけ除雪すると倒壊するおそれがあるので、両側から均等に除雪するようにします。

特に、古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪してください。なお、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎます。

なお、暖房機が設置されている場合は、内部カーテンを（二重カーテン）を開放した上で、可能な範囲で室温を高めることで屋根雪を滑落させるようにします。

これらの作業にあたっては、安全を十分に確保しながら行ってください。

また、できるだけ1人での作業は避け、相互に安全確認をしながらグループで作業を行ってください。

(3) 事後の施設点検と補修

降雪後はハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認し補修します。

※ 参考資料「パイプハウスの雪害防止対策（暫定版）平成23年3月」

県農業振興課のホームページに掲載していますので、以下のURLよりご覧ください。

http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyu/04toku_joho/setugai_taisaku_h230311.pdf

2 果 樹

(1) 樹体被害等の防止対策

樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行きましょう。

また、主枝、亜主枝などには支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。

りんごのわい化栽培等では、主幹部が木支柱やトレリスへしっかり固定されているか確認しましょう。

枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出します。雪が固まってから掘り出す場合は、周囲に切込みを入れて溝を作り沈降力を軽減してから行います。

(2) 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添えカスガイやボルトで早めに止めて接合します。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

3 畜舎及び施設

(1) 事前対策

強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊及び風雪の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓、外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行きましょう。

特に、開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどにより、風雪がかからないようにしてください。

堆肥舎への風雪の吹き込みも併せて防止してください。

あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳等ができるよう対策を行きましょう。

低温時には、水道管、バーンクリーナー、搾乳機器の凍結が心配されるため、凍結防止対策を適切に行ってください。

(2) 除雪

積雪による畜舎等の倒壊を防止するため、積雪の状況に応じ畜舎軒下等の除雪を行います。

特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設は除雪作業をこまめに実施し、積雪による倒壊等の被害を防止してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報

(右欄に掲載のQRコードよりご覧ください)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング
情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>



モバイル版 QRコード